

ブレインワークス

人事給与パッケージ強化

内部統制 文書化ひな型追加

ブレインワークス（東京都港区、竹内英昭社長、03・6713・9000）は、人事給与（HRM）パッケージ事業を強化する。自社ブランドのHRMパッケージに10月から内部統制に対応する文書化テンプレート（ひな型）を追加。標準的なサンプル文書の提供により内部統制報告制度（日本版SOX法）対応で最も手間のかかる文書化の作業量が、新規作成に比べ10分の1になるなど大幅な効率化が実現するという。07年度はHRM事業全体で約23億円の売り上げを見込む。

作業量10分の1に低減

内部統制テンプレートは同パッケージ「ポジティブ」と「スタツフブレイン」を対象に提供する。両製品の主要業務にかかわる標準的な業務フロー図を用意。対象業務数は人事異動や月次給与、年末調整、届け出申請など約30になる。ポジティブは大企業向け、スタツフブレインが中堅、中小企業向けという位置づけのため、価格はポジティブ向けが60万円から、スタツフブレイン向

けが20万円から。各業務フローに対して、会計監査の観点から評価したリスクと必要な統制活動（コントロール）をあらかじめ記述した。ユーザーはテンプレートを自社の業務に合わせて編集することにより「業務フロー」や「業務記述書」「リスクコントロールマトリックス（RCM）」

といった内部統制文書を作成することができる。フローチャート図機能で業務フローを作成すると、そこから業務記述書やRCMを自動的に生成。これにより内部統制文書作成の大幅な負荷軽減と期間が短縮する。同社は電通国際情報サービス（ISID）のグループ企業で、主にソフト開発と販売を手がける。両HRMパッケージは約1000社への導入実績を持ち売り上げ全体の約3分の1を占める。